

農の学校だより

第3号

令和5年
8月発行

🍅 ねりま農サポーター100名記念イベントの開催



トウモロコシの種まきをするサポーター



圃場の管理作業に参加したサポーター



ジャガイモの収穫を教えるサポーター

7月8日（土）に農の学校で開催された「夏野菜の収穫を楽しもう！」という区民向けの収穫体験イベントの様子をご紹介します！区内農業者のもとで援農活動する「ねりま農サポーター」の認定数は127名になりました。そこで今回、サポーターが100名を超えた記念として、区民と交流する収穫イベントを開催することになりました。

約100㎡の畑で作付する品目は、ジャガイモ（キタアカリ）とトウモロコシ（ゆめのコーン）で、農の学校で学んだノウハウを活かして、サポーターの皆さんが種まきから栽培をしました。農の学校を卒業してから久々に来園した先輩サポーターと在校生を含む後輩サポーターが声を掛け合いながら作業をしていました。

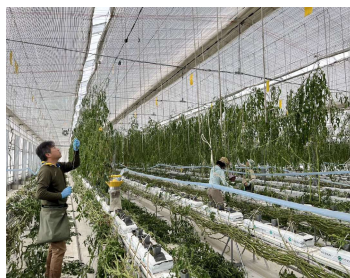
そして、当日は区報を見た区民の方たちが来園して、ジャガイモとトウモロコシを収穫しました。サポーターが参加者の皆さんに収穫の仕方を教えて、参加者だけでなくサポーターも楽しんでいる印象でした。

「夏野菜の収穫を楽しもう！」に参加された皆様、そして、ご協力いただきました皆様、大変お疲れ様でした！

🍅 援農体験会より（初級コースの様子）



農業者からハウストマト片付けの説明を受ける受講生



トマトの茎を降ろす受講生



トマトの茎を運ぶ受講生

今年も初級コースに15名の方が入校されました。初級コースの研修カリキュラムの中には、ねりま農サポーターに認定される前に実際に

農業者さんのもとへ伺ってお話を聞いたり、体験作業をする「援農体験会」というプログラムを実施しています。今回は7月に大泉学園町の農業者さんへお邪魔し、ビニールハウス内で栽培していたトマトの片付け作業を行いました。農業者の方いわく、この日が一年で最も大変な作業で、大変助かるとおっしゃっていました。参加された初級コースの方からは「人手の重要性が理解できた」という声もありました。

🍅 ねりま農サポーターの活動紹介（受け入れ農業者）



お花の鉢へ肥料を入れるサポーター

今回は、大泉町の受け入れ農業者さんで活動している「ねりま農サポーター」をご紹介します。こちらでは、ビニールハウスで花きを生産して、都内の市場などへ出荷されています。

農業者さんがとても穏やかな方々で、活動しているサポーターも楽しく農作業をしていました。ビニールハウスの中は冬でも暖かいため、一年中生産を行うことができることと、作業しやすい環境という利点があるとのことでした。



農業者と共にお花の鉢を等間隔で並べるサポーター

※ねりま農サポーターの活用をご希望の方は、同封の「活用希望申込書」をお送りください。

🍅 ねりま農サポーターの活動紹介（農業イベント）



種イモの植え付け方を教えるサポーター

3月19日（日）に開催された「高松みらいのはたけ」の開園式イベントの活動をご紹介します。高松みらいのはたけは高松二丁目にあります。

農サポーターは高松小学校の児童が参加したジャガイモの種イモ植え付け作業のサポートをしました。他にも缶バッジ作りなどの出展ブースでサポーターが対応スタッフとして活躍しました！

「高松みらいのはたけ」では今後も様々なイベントを開催・予定がされているので、サポーターの更なる活躍が期待されます！



参加者にパンフレットを渡すサポーター



木の香り体験で対応するサポーター



農の学校事務局について

本事業では、「ねりま農サポーター」や区内農業者との連絡・調整を行うため、練馬区立農の学校に事務局を設置しています。事務局スタッフは、「ねりま農サ

ポーター」の受入を希望する受入農家さんの受入・登録をはじめ、「ねりま農サポーター」と農業者とのマッチング活動や援農に関する情報提供などを行っています。